



平成31年2月15日  
 環境局環境国際戦略課  
 電話:093-582-3804  
 担当:有馬、井上

## 「中国大気環境改善のための都市間連携協力事業」における これまでの成果について

本市は、2014年度から5ヶ年計画で環境省の事業を受託し、中国大気環境改善のための都市間連携協力事業（2019年3月末終了）に取り組んできました。

これまでの主な成果は、次のとおりです。

### 1 事業概要

大気汚染対策分野で豊富な経験を有する日本の都市（※11都市）の知見やノウハウを活用し、中国の主要都市（※13都市）における大気環境改善を行う都市間連携協力事業です。

本市は、国内で唯一、中国の複数都市（上海市、天津市、武漢市、唐山市、大連市、邯鄲市）と連携協力を行っている都市であり、専門家派遣、訪日研修、共同研究などを実施してきました。

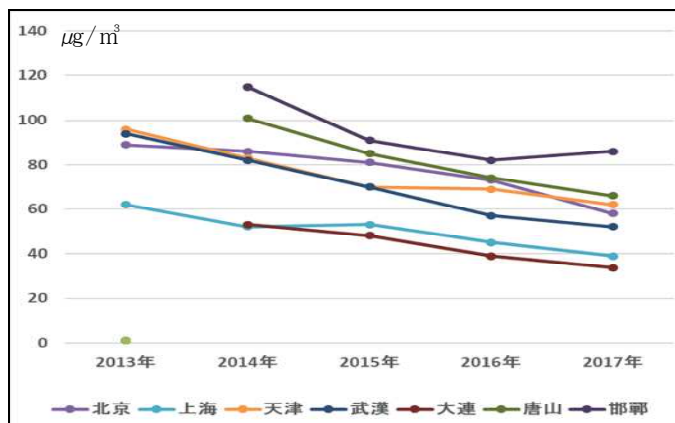
※11都市：東京都、埼玉県、富山県、長野県、兵庫県、福岡県、川崎市、四日市市、神戸市、北九州市、大分市

※13都市：北京市、天津市、上海市、瀋陽市、武漢市、邯鄲市、唐山市、大連市、江蘇省、河北省、広東省、遼寧省、山西省

### 2 これまでの成果

#### （1）中国各都市における大気の改善（PM2.5の減少）

中国全土で大気改善への取組が進んでいるなか、本市が協力した中国各都市では、各都市のPM2.5やVOC排出抑制対策等により、事業開始時(2014年)に比べPM2.5濃度が約30%減少しました（6都市平均 84.2  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ →56.7  $\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）。



\* PM2.5：大気中に浮遊する微粒子のうち、粒子径が概ね2.5  $\mu\text{m}$ 以下のもの

\* VOC：揮発性有機化合物。PM2.5や光化学オキシダントの原因物質の一つ

【出典】中国統計年鑑等

## (2) 中国各都市における環境管理能力の向上

本市は、中国各都市からの要望に沿ったテーマで専門家派遣等を実施し、各都市の政策形成能力向上やガバナンスの強化に貢献しました。

- ① 専門家派遣：延べ107回・421人
  - 多業種を対象にした中国各都市でのVOC対策セミナー  
(印刷業、塗料業、家具製造業、自動車修理業、建築塗装業 等)
  - 大気環境改善のための技術交流会 等
- ② 訪日研修：延べ37回・222人
  - 大気汚染拡大防止策や発生源の特定手法に関する研修
  - 工場への立入検査に関する能力向上 等
- ③ 共同研究：計4本
  - PM2.5の重金属元素リアルタイムモニタリング
  - 相手都市に適した光化学オキシダントシミュレーションモデル構築 等

## (3) 環境国際ビジネスの推進

本市は、市内の環境関連企業と協力し中国での環境ビジネスを推進しました。

- ① 市内企業による製品やサービスの受注・商談案件
  - 粉じん量の監視機器
  - 製鉄所での脱硫・脱硝技術及び脱硫・脱硝装置
- ② 中国における企業製品のPR（上海市、天津市、唐山市、大連市、武漢市）

## (4) 都市ブランド力の向上

本事業を通じて、国内外での知名度アップや都市ブランド力の向上につなげました。

- ① 国際会議等でのPR
  - 日中友好環境保全センター20周年記念式典（2016年）  
※日本の自治体で唯一、北橋市長が招待されました。
  - 日中環境保護産業協力シンポジウム（2017年）  
※経団連主催の日中国交正常化40周年事業
- ② 日本の「環境白書」での記事掲載
  - 2017年版の環境・循環型社会・生物多様性白書で、SDGsに大きく貢献する事例として、本市の取組が紹介されました。

### 3 今後の進め方

本事業については、2018年6月に日中両国環境大臣により2021年6月まで（3ヶ年度）事業を延長する旨の覚書を締結し、これまでの大気環境改善に加え、地球温暖化対策についても協力していくことになりました。

なお、今後の進め方については、現在、日中政府間で協議中ですが、本市としては、①中国の大気改善、②日本への大気汚染影響軽減、③国際環境ビジネスの推進、④SDGsの実現等につながるため、この事業に取り組んでいきたいと考えています。

#### 【参考】北九州市と連携した中国6都市の位置図

